

夜間学校 ニュース

1988年 6月 17日
西成区萩之茶屋2-8-9
旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を！

みんなの 会館

みんなで つくろう

毎週金曜日
夜七時より
市民館三階

三人よれば 何とかの 知恵

投稿歓迎

読む・書く・話す で参加を

夜間学校に対するという
か、夜間学校ニュースの紙
面に対してというか、とも
かく、仲間からの投稿が三
つもきた。
それで、これからは、仲
間からの投稿があれば、で
きるだけ裏面で載せていき
たいと思ひ。

多くの仲間を知って欲し
いこと、考えてもらいたい
こと、提案なんでもいい

から投稿して下さい。

投稿の方法は、三つあつ
て、一つは、ニュースを配
っている人間に渡す、二番
目は、旅路の里に持って行
く、三番目は、旅路の里気
付で郵便で送る。マア、ど
れでも、気にいった方法で
どうぞ。

さて、今回の投稿は、釜
ヶ崎差別と闘う連絡会議が
お、府に対しておこなった

申し入れに付いて、です。

申し入れは六月十五日に

なされ、今のところは、具
体的な回答はまだ出ていな
い。七月二日をメドに文書

で回答することにも、釜ヶ
崎差別と闘う連絡会議と話

し合いをもつことになつて
いる。

いずれにしても、即効性
のあることではないので、

じっくりやるしかないのだ
が、多くの仲間が関心を持

つてくれることを期待して
いる。今後は、みんなと一

緒に行政に行く方法も考え
てみたいと思ひ。

仲間の死

本籍、住所不詳、氏名自

身長170センチ、肥満体、遺

留金品現金300円

右の者は、昭和61年1月

17日午前9時ごろ、西成区

萩之茶屋1-9-1簡宿ち

とせ階月6号にて発見さ

れたもので、同月16日午後

零時ごろ(推定)同所にお

いて死亡したものと思われ

る。(死因検査中)

身柄引取人不明につき、

此後場にて火葬に付したの

で心当たりの方は西成区役
所まで申し出て下さい。

久しぶり、雑談大会、話題はいろいろ……

「いよいよ本格的な梅雨。最近のセンターだより(一三エ号)では今年も例年よりも仕事の減り方は小さいとか。その反面、仕事はヒマやと単価を下げるどころも出てきています。ただでさえ、うつつとらしい季節、体だけはこわさないようにしたいものです。」

「上新庄のシラカワがつい最近やけど単価を下げてだした。一般の土方が九千五百円やったのが九千円になったし、鉄筋屋も一万三千五百円がやっぱり五百円下げてる。」

「シラカワいうたら、クルマの前向いっぱいにステッカーでござった。こまめに書いてるとこやな。仕事がないいうて、こまめに単価下げる必要ないのに。」

「これやったら、他でも単価下げてるかもしれんや。」

「仕事ないいうてるけど、韓国から人を呼びよせて、安い単価で働かしてんのとちやうかし。」

「それはカンگریすやで。」

「この前パチンコに行ったけど一時五分で五千三百円パーになった。」

「ワシなんか一時間で一万円パーや。自動式になってから負けるのが早うなった。」

「十八の時からパチンコやりだして、だいた十年で三百万円は負けてるで。」

仲間の声

六月十日発行夜間学校ニュースを読みました。若干の感想をのべてみたいと思います。

文面を読んだかぎりでは、アオカン者襲撃への抗議の矛先は教育行政に向いている様に思われますが、少年たち自身や、

誰よりも彼らを保護監督する立場にある彼らの親に対しては、どの様に考えておられるのでしょうか。

かつて朝日新聞の投書欄に、「少年たちも被害者、自分たちの未来を撃ったのだ」という様な記事が載っていました。私はおちこぼれの少年たちという事で彼らを免罪する傾向には反対です。少年たちには若さがある分だけ未来の可能性があるとあります。落ちこぼれ故に未来が見えないのだという人もいるでしょうが、同じ落ちこぼれ同志ならいたわりの心を持つべきです。背景はともかく彼らのや

った事は、弱いものいじめなのです。「やられたら、やり返せ」とまではいかなくとも、直接的な怒りはまず、当事者に向けられるべきでしょう。

さて、いたわりあう心を持つ事は、一体誰が教える事でしょうか。私は第一に親だと思えます。中高生が事件を起こした時、よく学校は、何をしているのかという声が上がりますが、下校してから起きた事件について学校は、教師はどこまで責任を負わなければならないのか、生徒の二四時間を監督する事は不可能です。校内でのいじめが原因の自殺や殺傷事件では、学校の責任も問われるでしょうが、弱い者いじめをするな、いたわりの心を持つてという倫理感を教える事は親の責任であると思えます。

少年たちは二度もエアガンを持った。彼らの親は自らの責任を一切放棄しているという事です。(もちろん学校側もだが)

今回の事で、私はそこに一番怒りを感じます。この様な親は子供を産む資格などない……

管理教育への批判に対する学校(教師)の側からの反論として、「学校がちゃんとして」ももらわなければ困るといふ(母)親が多いからだ」という記事もあります。学校が管理主義に陥る背景には、その様な親の存在も大きいと思えます。

自分の責任を放棄した親と、管理教育・能力主義で落ちこぼれをつくり出している学校の双方が少年たちの、「スカットした」「汚い物を掃除して何が悪い」という意識をつくりだしているのではないのでしょうか。

もちろん、夜間学校や連絡会議の人達は、この様な事すべて認識した上で、とりあえず今は、教育行政を追求しているのだと思えますが、

学校側に、「それは親が悪い、親の責任です」という風に、いなおりさせるのではなく、しかも親たちにも自らの責任を自覚させる様な、差別問題への取り組み方を模索するべきではないでしょうか。

その事をふまえた上で、市・府への申し入れも考えていくべきではないでしょうか。

釜日労三流組合員(ト)投稿